

浦和競馬場装鞍所エリア再整備工事実施設計業務
設計要求書

1 設計条件

〈全般〉

- (1) 浦和競馬場の本場開催、場外発売に支障がない計画とし、本場開催期間中は工事が行えないことに留意する。
- (2) 仮設計画は、競走馬及び関係者の安全確保に十分配慮したものとする。
- (3) 実施設計は、貸与する基本設計の内容を原則として踏襲するが、一部必要な変更を行うことがある。
- (4) 建替ローテーション計画において、工事の各段階で必要となる仮設馬房棟、仮設騎手控室棟、仮設馬道斜路・土留め、仮設照明設備及びその他必要な仮設工作物の実施設計（解体設計共）を含むものとする。なお、建替ローテーション計画は、契約後に提示する。

〈建築〉

- (1) 工法・仕様は、将来の維持管理の容易性に配慮しつつ、本場開催期間中の工事中断を踏まえ、工事期間の短縮に寄与する工法を採用すること。
- (2) 仮設建築物は、リース契約を前提とした仕様とし、リース契約以外となる場合にあっては解体設計を含めるものであること。
- (3) 影響範囲の舗装、外柵等の門扉、上水及び污水配管、電気設備を併せて設計する。
- (4) 建築基準法に基づく計画通知、仮設許可及び道路内建築許可は、所管行政庁となるさいたま市と事前協議を適切に行うこと。

〈設備〉

- (1) 各棟必要箇所には、遠隔監視操作用設備を設計する。
- (2) 馬房にはドライミスト設備を設計する。
- (3) 現地調査を行うとともに、既存図面を確認し、埋設物等に影響がないように計画する。埋設物に干渉する場合は、切り回し工事を設計する。
- (4) 装鞍所脇の既存駐輪場部は、一部に隣接地給水管が埋設されているため切り回し工事を設計する。
- (5) 既設照明柱は、移設し再使用する設計を前提とすること。
- (6) 建築物の解体に伴い、電源や通信線（電話、テレビ、放送等）の切り回しが必要となる場合には、実施時期なども明確にし工事を設計する。

2 成果品の工区分け

- (1) 工事の発注は、県内企業の受注機会を確保するため分離分割を行う。
- (2) 段階的に行う工事は、工区分けを行うものとする。工区分けに係る成果品の取りまとめは、概略工程表を作成、工事費概算額を算出し、監督員と協議し定める。
- (3) 概略工程表の作成及び工事費概算額の算出は、前記による他、発注者が行う予算調書作成時に中間報告を行うこと。

3 その他

- (1) この仕様書に定めるもののほか、本業務の進捗状況等により変更等が必要な事項は、発注者と受注者が協議し定める。
- (2) 工事において採用する工法又は資機材は、特定の1社に限定されないものとする。